

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ミッション

地球環境にやさしい優れた技術と判断力で、豊かな社会づくりに貢献する

売上高
127.0億円営業利益
6.65億円営業利益率
5.24%

② 中長期の経営戦略

1. 経営基盤の強化

財務体質強化、有効な資産活用、業務執行体制強化、M&A推進、人材計画的採用・育成、ダイバーシティ経営推進

2. 技術力開発に立脚した事業

コンサル業務拡充（防災設計対応部署拡充）、海洋調査分野で洋上風力発電・浮体式対応、地盤物性試験技術開発、生成系AI活用

3. コンサル業務強化

第75期に受注額占める割合を23%から28%に増加。斜面・堤防解析設計で売上18～20%、粗利益22～24%維持

4. 成長分野事業推進

再エネ事業売上第75期16.6億円、2025年度2020年度比150%達成。放射性廃棄物処分、防衛施設関連で能登半島地震対応15億円超受注

③ 対処すべき課題

① 海洋調査部門の経営安定化

- ・案件当たり受注金額が大きく、荒天待機費用など不確定要因が借入・キャッシュフローに与える影響管理
- ・セントラル方式・浮体式基礎対応など新技術開発による受注機会確保

② 人材・働き方改革推進

- ・介護問題深刻化対応、女性・シニア含む多様な働き方への対応
- ・社員健康維持と全世代の満足度向上の両立

③ DX推進による競争力強化

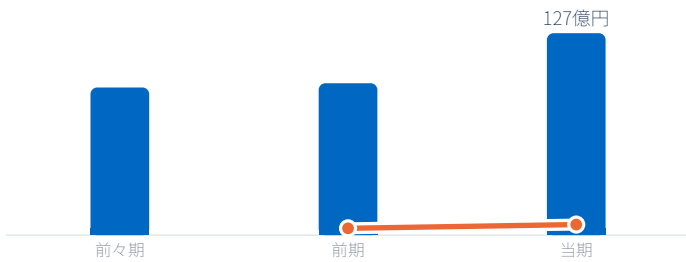
- ・業務効率化・高度化による生産性向上
- ・技術開発や大学・研究機関との連携によるメンテナンス分野技術開発

面接で使えるポイント

- ・創業以来の社は『協力一致、積極活動、堅実経営』のもと、アースドクターとして陸域から海域まで地盤問題に多角的に対応
- ・第75期に海洋調査分野で16.6億円売上達成し、2025年度150%目標を達成。
- ・能登半島地震対応で15億円超の災害業務受注など、地質・土質の高度な知識で社会貢献。

証券コード 4673

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
地質調査・土質調査を中心とした建設コンサルタント企業

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
127億円営業利益率
5.2%財務健康度
41点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 48.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
42.0歳
サービス業内 134位/527社平均勤続
14.0年
サービス業内 52位/527社女性管理職
2.8%
サービス業内 355位/371社男性育休
100.0%
サービス業内 47位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

